

『会報』電子化に向けた会員各位の御意向のおうかがい

社会経済史学会中国四国部会
会員各位

謹啓

向春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、昨年 12 月の中国四国部会総会の報告事項においても申しあげましたように、部会の会計状況は逼迫しております。単年度会計だけで見ますと約 3 万円程度の赤字が毎年発生する状況となっております（昨年度は寄付金を頂くという僥倖に恵まれましたが、言うまでもなく毎年見込めるものではありません）。

支出項目を眺めますと、毎年、郵送費＋封筒・宛名シール代で 4.5 万円ほど支出しております。年会費の値上げを行わず部会活動の継続を行う上で、上記支出を削減することが妥当であると判断しました。

今日、学術雑誌も電子化が進展している状況を鑑みますに、部会『会報』も電子化し、部会財政の安定とそれによる活動の継続を図るべきと思われれます。

今回、『会報』をお届けする封筒に本書面と御意向伺いの葉書を同封いたしましたのは、
・部会の web-site を充実させ、サイトより『会報』PDF ファイルをダウンロードできるようにする（『会報』バックナンバーもアップロードする）。

・会員の皆様とのご連絡・情報共有には、皆様からメールアドレスをご通知いただき、メーリングリストを作成することによる連絡体制を確立する。

・とはいえ、従来どおりの紙媒体での『会報』発送を希望される会員には、その旨、ご連絡をお願いする

という上記諸点につきまして、皆様からご意向・ご回答をお願いしたいが故であります。

恐れ入りますが、会員の皆様におかれましては、同封の葉書にて、

・メーリングリストに登録すべきメールアドレス（複数のアドレスをご通知いただいてもかまいません）

・従来通りの紙媒体での『会報』の発送を希望される方は、ご意志の表明。
をお願い申し上げます。

既にメールアドレスを御連絡いただいている多数の会員各位がいらっしゃる現状は理解しておりますが、恐れ入りますが、この機会に、再度ご連絡をお願い申し上げます。

何卒、ご意向をご回答いただきたく、お願い申し上げます。

謹白

2019 年 2 月 26 日
社会経済史学会中国四国部会事務局
山本 裕(yamamoto@ec.kagawa-u.ac.jp)